

平成15年度 文学部 授業計画表[syllabus]

科目名 名跡鑑賞 (英文名) Appreciation of Calligraphic Masterpieces	4単位	(ふりがな) うちむら よしひで 担当者 内村 嘉秀 e-mail uchimura@kokushikan.ac.jp
授業のねらいと概要: 中国の書芸術の名跡を中心に鑑賞する。亀甲獣骨に刻まれた文字・青銅器に鑄造された文字(金文)・石に刻まれた文字(碑・墓誌銘・造像記)・木に書かれた文字(木簡)・紙や絹に書かれた文字(帖)など文字の表現形態を知るとともに、篆・隸・草・行・楷書の書体の誕生と書風の変遷が理解できるようにする。なお、書道芸術においては、臨書(手本を見てその書法や形を写しとること)が古典を鑑賞する有効な方法となるので、授業においては臨書を併用する。従って書道用具をそろえることを条件とする。		
教科書: コピー		
参考図書: 『図説中国書道史』(芸術出版社) 他		
評価法: 出席・受講態度及びレポート		
具体的評価方法等: 1. 授業に先だって(前の週の授業時に配布する)、名跡の「カゴ字」をとって、その古典の字形や用筆等の特徴をつかんでくる。(予習の課題) 2. 授業を受けた後、その授業でとりあげた名跡の概要、授業で学んだこと、授業の感想(批判等)をレポートする。		

【授業計画】

回数	講義テーマと概要
第1回	講義のすすめかた、年間計画等のガイダンス
第2回	「書とは何か―書と書でないもの―」について、「宇宙空間と書の余白」について
第3回	古代文字(1) 甲骨文
第4回	“(2) 金文(大孟鼎、散氏盤、毛公鼎)
第5回	“(3) 石鼓文、泰山刻石
第6回	“(4) 秦・権量銘
第7回	“(5) 秦簡(秦の木簡)
第8回	漢代隸書(1) 帛書「老子」、木簡、魯孝王刻石
第9回	“(2) 八分隸書、乙瑛碑、礼器碑、曹全碑、張 碑
第10回	“(3) 同上
第11回	“(4) 摩崖碑(古隸) 石門頌
第12回	“(5) ” 開通褒斜道刻石
第13回	三国・東晋の行書・草書・楷書(1) 広武將軍碑、他
第14回	“(2) 宝子碑、他
第15回	“(3) 魏・鍾 の薦季直表 他
第16回	“(4) 王 之の行書・蘭亭序 他
第17回	“(5) ” の草書・十七帖 他
第18回	“(6) ” の楷書・樂毅論 他
第19回	南北朝の書(1) 龍門石窟造像記
第20回	“(2) 王遠の石門銘
第21回	“(3) 鄭道昭の鄭 下碑 他
第22回	隋代の書 智永・真草千字文 他
第23回	唐代の書 (1) 欧陽詢・九成宮醴泉銘、虞世南・孔子廟堂碑
第24回	“(2) 太宗皇帝・温泉銘、 遂良・雁塔聖教序 他
第25回	“(3) 顔真卿の書